

編集後記

この度、前号である第 12 号に続き、今年度も『秋田社会討究』第 13 号を発行することができて嬉しく思います。

今号は平成 25 年度に卒業された院生、学部生の卒業・修士論文発表要旨を収録しています。どの卒業論文・修士論文もそれぞれ綿密な調査に基づいた論文であり、非常に充実した研究を行われていたことが伺えます。

また、社会科教育研究室に所属する学部生が平成 24 年度に実践した社会科授業の授業実践報告も収録されています。この実践は、授業者が学部 2 年次の時に行った「社会科巡検」をもとに構成されています。授業の組み立てから教材作り、模擬授業に至るまで教員を目指す学生の授業力を高める上で、非常に意義深い実践と言えるでしょう。

今後こうした諸先輩方の研究成果に学び、研究室に在籍する学生も、より一層研究に励んでいきたいと存じます。『秋田研究討究』の今後のさらなる発展を願ってやみません。

最後に、今号の編集作業に携わった学部生を中心とする紀要編集委員とデータの編集に協力してくださった社会科研究室の皆様、この場を借りて厚く御礼申し上げます。

平成 27 年 12 月

代表執筆 東海林 岳太

『秋田研究討究』第 13 号編集委員

教員 外池智

学部生 東海林岳太、齋藤あおい、佐々木菜摘、菅原悠人

秋田社会討究 第13号

発行 2015年12月2日

編集 秋田大学 社会科教育研究室

発行者 秋田大学 社会科教育研究室

〒010-0852 秋田県秋田市手形学園町1-1

代表 外池 智 TEL/FAX 018-889-2533

e-mail stono@ed.akita-u.ac.jp

<http://www.ipc.akita-u.ac.jp/shakaika>